

第1章 地域整備の考え方

1 基本的な考え方

広大な面積を有する秩父市には、地域に息づく歴史的・文化的資源が数多く存在し、個性ある文化活動や産業活動が行われています。

本市の将来都市像である

“環境重視・経済回生”

自然と人のハーモニー
環境・観光文化都市 ちちぶ

を実現するためには、この貴重な財産を継承するとともに、それぞれの地域が個性ある発展をしていくための施策を展開する必要があります。

このため、地域別計画では、新市エリアを5つの地域に分け、地域の実情やニーズを考慮した取組を行っていきます。

特に、合併により広大となった本市には、恵まれた自然環境が残され、首都圏のオアシスともいえることから、その特性を最大限に引き出し、魅力ある施策を行っていきます。



羊山公園芝桜の丘から望む武甲山

また、秩父地域の中心都市である本市が、一層の発展を実現するため

に、「ちちぶはひとつ」であるとの広域的な視点に立ち、施策を推進していきます。

さらに、住民の多様なニーズに的確に対応し、新市の将来都市像を実現するためには、行政の力だけでは困難であり、地域住民、NPO、企業等と一体となって事業を推進することが不可欠となります。このため、地域整備に当たっては、これまで以上に、協働による地域づくりを推進していきます。

なお、「地域別計画」は、それぞれの地域の個性や魅力を高めるための「主な取組」を明記したものであり、市全域で行う事業や施策については、地域の実情に応じ「基本計画」に基づき実施していきます。

2 個性のある地域づくり

広大な面積を有する秩父市は、商業活動が盛んな中心市街地、住宅地として開発が進む地域、工業団地の整備が進む地域、のどかな田園風景が広がる地域、森林資源などの豊かな自然を保全、活用し観光産業の発達を目指す地域など、地域ごとにいろいろな表情を持っています。

これらの地域特性を最大限に活用しながら、地域の実情やニーズに応じた、都市機能や生活基盤の整備を行い、個性ある地域づくりに取り組んでいきます。

また、秩父地域は首都圏から60km～80km圏と適度な距離に位置し、日帰り観光地として定着しています。近年では、中高年層のハイキングブームなどにより、



秩父いってんべえウォーク

観光客が増加しています。さらに、豊かな自然や伝統ある祭りなど、本市の魅力に感動や癒しを求めて訪れる人々も増えています。今後は、恵まれた自然環境及び観光資源の発掘や開発を行い「見る観光、通過型観光」から「感動体験する宿泊型の観光」への転換を基本に、独自性の高い地域づくりを目指していきます。

3 環境重視による地域づくり

秩父市は、500km²（市面積577.69km²）を超える森林や4つのダムを有するなど環境資源が豊富な地域です。

この森林により、多くの人々へ酸素を供給し、ダムは、260万人の水を供給できる能力を持っています。

この豊かで貴重な環境資源を保全し、将来の世代に引き継ぐことを基本として諸施策を展開します。



水面に緑が映える二瀬ダム

さらに、これらを活用した新しい産業を創出し、住民の定住、地域の発展に寄与する環境重視の施策を推進します。

4 協働による地域づくり

高まる住民意識と活発化する市民活動の中で、住民が主人公となる地域づくりが、重要な要素となっています。

また、行政の限られた人員や財源の中で、複雑化、高度化する行政課題に即応し、地域の魅力を高める施策を展開し続けていくには限界があります。

これからの地域づくりは、市民、企業、NPOなどが一体となり、お互いに知恵を出し合い、適切な役割分担のもと、それぞれが責任感を持って、施策を推進していく必要があります。このため、適切な情報の提供と効果的な市民参画の手続きを行っていきます。

特に、「人づくりは くにづくり」の観点から、本市の将来を担うのは、子どもたちであり、教育の充実が欠かせません。それぞれの地域が格差無く、安心、安全に学校教育が受けられるよう、環境整備を進めるとともに、秩父ならではの特色ある教育の推進を図っていきます。

さらに、それぞれの地域の高齢者や障がい者が生きがいを持って生活できるための基盤づくり、サービス提供の仕組みづくりを推進していきます。

5 地域間の連携

個性ある地域づくりを進める一方、一つの地域では十分な対応ができない課題については、それぞれの地域が連携し、合理的な対応を図ることも欠かせません。

特に、観光都市として知られている本市は、秩父札所巡りやハイキング、秩父夜祭、吉田の龍勢、三峯神社、荒川のそばなど、自然や祭り、食、伝統芸能、歴史文化などの宝庫です。

今後は一層、地域間の連携による観光客の回遊策を図り、誘客を促進する必要があります。

また、市民はもとより、観光産業や経済活動の振興を図るうえで必要となる幹線道路の整備については、国県道の整備と連携し、各地域間を連結する南北・東西方向の道路を整備します。さらに、市民生活の安心・安全を確保するための道路整備も、地域の実情に応じて推進していきます。



6 地域区分

合併前の秩父市、吉田町、大滝村及び荒川村は、豊かな自然環境を背景に、地域固有の歴史・文化・産業等、それぞれの特色を生かしたまちづくりを行ってきました。

市域の広がった新秩父市の地域整備を行うに当たっては、これまで築き上げてきたまちづくりを継承しながらも、旧市町村の行政界にとらわれることなく、地域の魅力と個性を高める施策を推進していく必要があります。

そこで、地理的条件や経済条件、交通条件などを考慮し、特色ある発展を目的とし、以下の5地域に分類しました。

① 大滝地域

～豊かな森林と清らかな源流を保全・活用し 潤いある暮らしができるまちづくり～

② 久那・浦山・荒川地域

～魅力ある山里と食文化を活かした いや癒しの空間を創造するまちづくり～

③ 中央地域

～商工業を活性化し 歴史と文化がいきづく にぎ賑わいのあるまちづくり～

④ 尾田蒔・大田・下吉田・久長地域

～のどかな田園風景と多様な産業が共生する 生産力あるまちづくり～

⑤ 阿熊・上吉田・石間・太田部地域

～自然の恵みを活かし 循環型社会を築く 環境にやさしいまちづくり～

